

【紀北町】

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数と割合

令和6年8月に本町が独自に実施した「通信環境調査」の結果によると、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）（以下「推奨帯域」）を超える学校数は11校で、総学校数に占める割合は91.6%でした。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本町では、推奨帯域を満たしていない理由を特定できているため、外部機関によるネットワークアセスメントは実施しません。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和8年度以降にアクセスポイントの更新を検討します。また、ネットワークの活用状況を見ながら、通信回線の帯域増強を精査します。

(3) 既に解決すべき課題が明らかになっている場合の解決方法と実施スケジュール

本町職員によるネットワークアセスメントの結果、現在利用している一部ケーブルおよびスイッチングハブの通信規格による通信帯域の限界や、通信事業者との契約帯域が推奨帯域を下回っていることが課題として判明しました。令和6年時点では、これらの課題に対して直ちに対策を講じる必要はないと判断しますが、将来的な改善に向けて、以下のスケジュールで検討を進めていく予定です。

- 令和7年7・8月：通信環境調査（以降毎年実施）
- 令和7年7・8月：通信回線の増減速の精査（以降毎年実施）
- 令和8年4月以降：アクセスポイント、スイッチングハブ、LAN ケーブルの一部更新の検討